



# カウンセラーだより

たじま絆保育園 2019. 2月号

保護者の皆さま、こんにちは！寒い日が続いていましたが、お変わりございませんでしょうか？暖くなるまで、もうしばしの辛抱ですね。

今月号は、安定型の愛着と性格についてお送り致します。日々の育児への気づきと、ほんの些細な参考になりましたら幸いです。



## タイプ2 (安定型)

### 1. こどもの場合

安定型の子どもは、年齢にもよりますが、割り合い分離がスムーズに行きます。もちろん、その子の気質も関係していますが、離れた後、初めは泣いていたとしても、すぐに泣き止みます。それは、微笑んでいる親のイメージが子どもの中ころの中に宿っているからです。それに、安定型の子どもは、親から大切にされている、守られている、愛されている事を無意識に知っていますから、離れても、またお迎えに来てもらえる、と安心してしています。そして、親と再会した時は、その喜びを思う存分、表現します。

### 2. 親の場合

安定型の親は基本的に情緒が安定しています。もう少し詳細にお伝えすれば、感情のふり幅が狭い、あるいは、自分の気分次第で子どもへの関わりがあまり変わらない、という事です。いつも笑顔とはいきませんが、笑顔が多く、こどもの話を聴き、(ワガママは別にして)こどもの求めに応じると共に合わせられるキャパと愛情があるという事です。

### 3. 安定型の親子

そして、安定型の親は子どもにあまり惑わされる事はありません。親のこころに余裕があるからです。親子の情緒は無意識に伝達し合いますから、親が安定していれば、当然こどもの情緒と行動も安定していきます。こどもも情緒が安定していますから、親を困らせるような行動もあまりしません。したとしても、聞き分けが良く、気持ちの切り替えにあまり時間がかかる事は少なくありません。そうした相乗効果が親子における情緒と行動(関わり)の安定を生み出していくなど好循環を生み出していきます。

## 3月のお知らせ

- ・ 原則として、水曜09時～18時に出勤予定です。



**3月号は園長先生から「親の関わりによる子どもの育ち方(後編)」についてオーダーが出ています！ぜひ、ご覧ください！**